

アデカ製品をご使用になられる皆様へ

- ・アデカ製品の取り扱いにおいては、化学物質による事故防止の為、当社発行のMSDS（製品安全データシート）を充分にご活用ください。
 - ・本カタログ上での製品の試験データは、当社試験法または規定の特定条件下で得られた測定値の代表例です。
 - ・本カタログの仕様・外観は、商品改良などの理由により、予告なく変更する事がありますので予めご了承ください。
 - ・本カタログに記載の用途は、本製品の当該用途への適用結果を保証するものではありません。
 - ・本カタログでご紹介した用途への使用に際しては、工業所有権にもご注意ください。
- ※なお、カタログ内容上ご不明な点、及び詳細データについては、担当営業部署までお問い合わせください。

Commodity Chemicals



NETIS
登録 No. KT-120080A

誘発目地材

アデカストッパー VE

製品一覧

Amazing Chemicals

"Amazing Chemicals" はADEKAの持っている技術の優位性やすばらしさ・驚き・ワクワク感を表しています。お客様によりよい感動を与えるものづくりで、世界へ飛躍するという思いを込めています。

株式会社 **ADEKA**

<http://www.adeka.co.jp>

本社（基礎ケミカル営業部） 東京都荒川区東尾久7-2-35 〒116-8554 Tel.(03) 4455-2843
機能化学品開発研究所 埼玉県久喜市菖蒲町昭和沼 20 〒346-0101 Tel.(0480) 85-6001

PRINTED WITH SOY INK 再生紙を使用しています

D10-0913A No.3-3



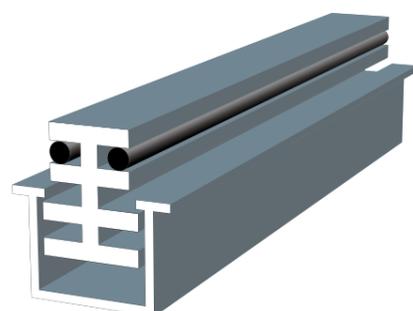
誘発目地材 アデカストッパーVE

1 はじめに

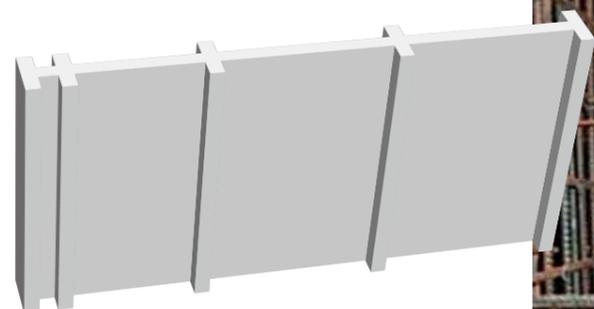
誘発目地材「アデカストッパーVE」は、コンクリート表面に発生するひび割れを目地部に集中させることで壁面の美観を保つだけでなく、目地部に集中したひび割れからの浸入水を、水膨張ゴムの力で止水する新しいタイプの誘発目地材です。

一般的に、誘発目地材としては、鉄板や塩ビ管、鉄板入りブチルゴムなどが使用されることが多かったですが、当製品はコンクリートとの密着性を高めるとともに、コンクリートの熱膨張、収縮に追従させることを目的に、圧縮強度が高く、樹脂の伸びが大きい特殊ポリエチレン樹脂を使用しています。

壁厚に応じてVE1とVE2を組合せることで、30%～50%の断面欠損率を確保し、ひび割れを計画的に発生させます。また、目地棒を使用せずVE1本体をそのまま化粧目地として残すことができますので、目地コーキング等、付随工程が不要となります。



誘発目地材 アデカストッパーVE1



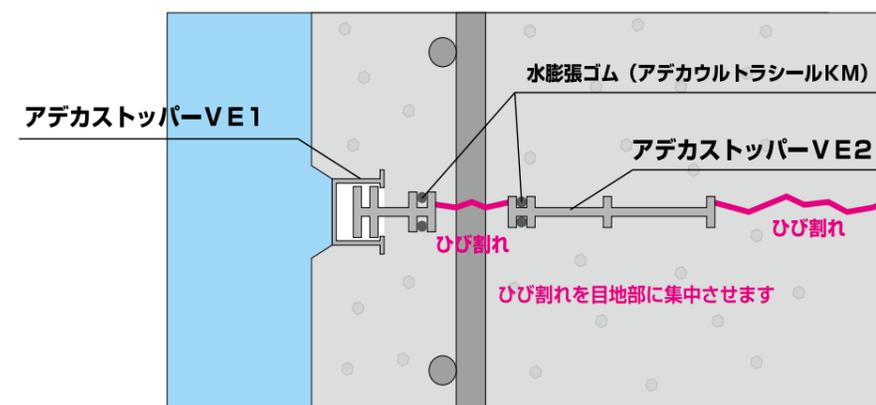
誘発目地材 アデカストッパーVE2



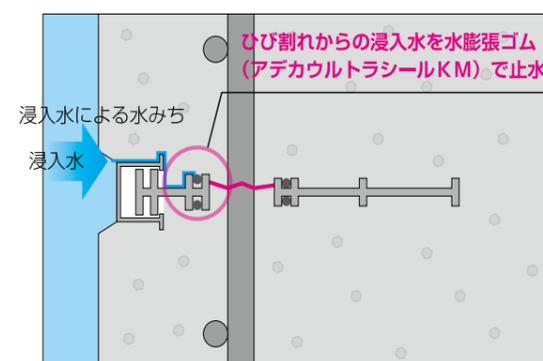
2 製品特徴

- ① 壁厚に応じてVE1、VE2を組み合わせることで断面欠損率を確保し、ひび割れを計画的に発生させます。
- ② 型枠、鉄筋等への取り付けが簡単です。
- ③ VE1は化粧目地として残せるため、目地コーキング等の付随工程が不要となります。
- ④ 水膨張ゴム（アデカウルトラシール）と組み合わせることで、目地からの漏水を防ぐことが可能です。
- ⑤ 欠損材として、特殊ポリエチレン樹脂を使用することでコンクリートとの密着性、接着性を高め、コンクリートの熱膨張・収縮に追従します。
- ⑥ 一次止水はVE製品とコンクリートの密着効果、二次止水は水膨張ゴムによる膨張効果により止水します。
- ⑦ VE1では、排水をさせることも可能です。

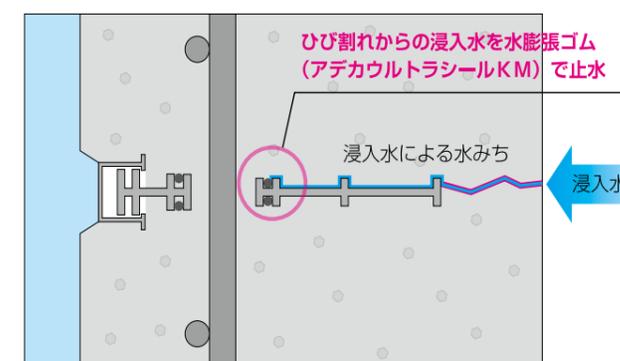
3 止水概念



アデカストッパーVE1の止水概念



アデカストッパーVE2の止水概念



4 基本物性

基材部分（アデカストッパー VE1 および VE2）

項目	代表物性値	測定方法
比重	0.95	JIS K 7112
引張降伏強さ	13.8 MPa	JIS K 7113
引張破断伸び	250 %	JIS K 7113
引裂強さ	75.2 N/mm	JIS K 7128
コンクリート接着強度	0.8 N/mm ²	建研式

水膨張部分（アデカウルトラシールKM）

項目	代表物性値	測定方法
硬さ	A33	JIS K 6253
引張強さ	6.0 MPa	JIS K 6251
引張破断伸び	800 %	JIS K 6251
体積変化率	170vol% (2.7倍)	社内法

5 性能試験

耐水圧性能試験

	ブランク	VE 1 水膨張	VE 2 水膨張
止水性能 (MPa)	0.01 にて漏水	0.4	0.4

接着試験（対コンクリート付着能力）

	ブランク（鉄板）	VE シリーズ
接着性能 (N/mm ²)	0.4	0.8

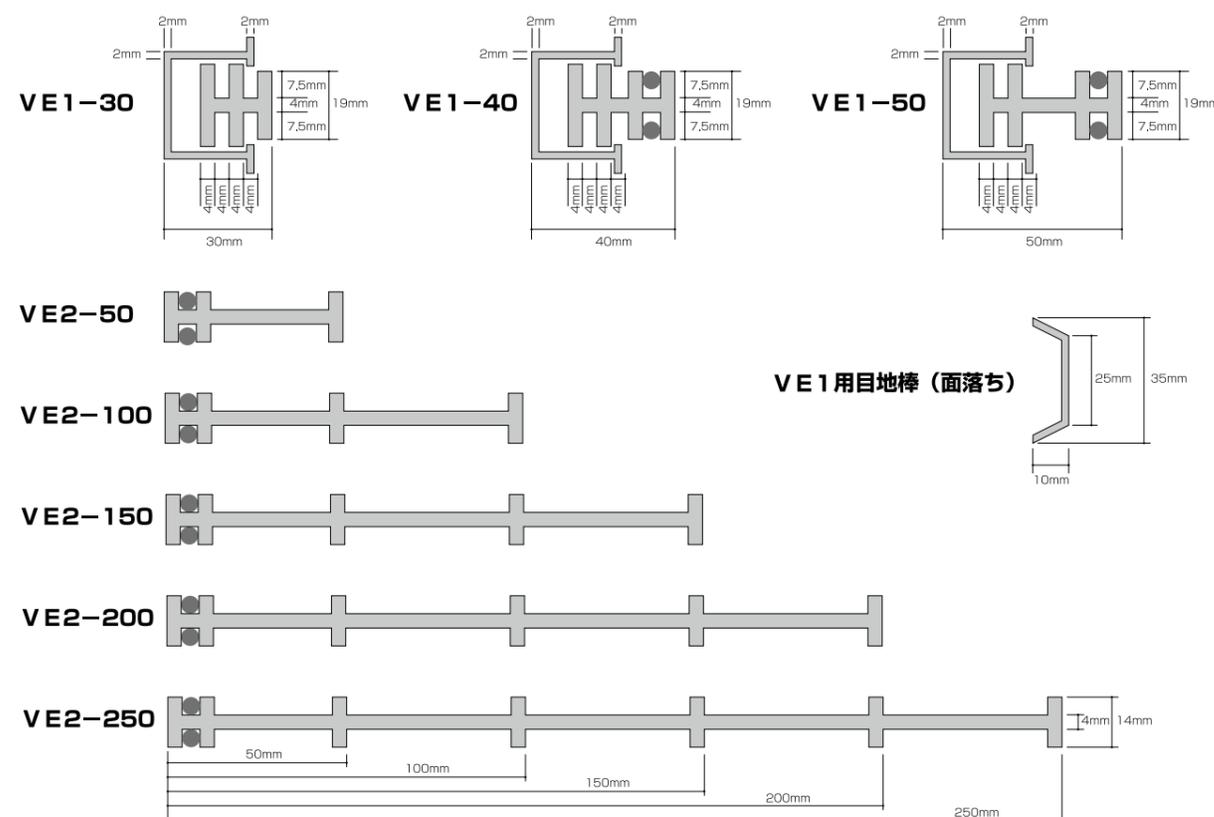


6 製品一覧

品名 アデカストッパー	有効幅	製品長さ	梱包	備考
VE 1 - 30	30 mm	1 m	10本/箱	VE 1 - 30 は水膨張ゴムなし
VE 1 - 40 W	40 mm	1 m		
VE 1 - 50 W	50 mm	1 m		
VE 2 - 50	50 mm	1 m	10本/箱	水膨張ゴム付き品 (W) あり
VE 2 - 100	100 mm	1 m		
VE 2 - 150	150 mm	1 m		
VE 2 - 200	200 mm	1 m		
VE 2 - 250	250 mm	1 m		
VE 1 用目地棒	10 mm	1 m	VE1 取り付け	面落ち用

品名	梱包
アデカウルトラシール P-101（接続用副資材）	6本/箱×4箱 24本/CS

製品断面寸法図



7 壁厚による組み合わせ例

誘発目地材「アデカストッパーVE」を、壁厚の30～50%となるように欠損量を計算した施工例です。

外目地部材としてVE1-40を使用した場合

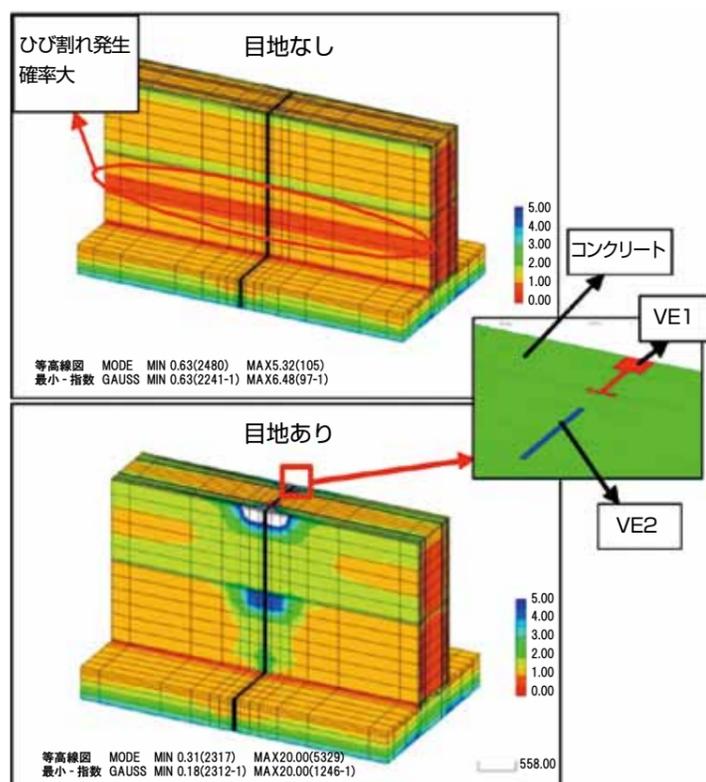
壁厚 (mm)	VE1-40	VE2-50	VE2-100	VE2-150	VE2-200	VE2-250	有効幅計	断面欠損率 (%)
400	2		1				180	45.0
500	2		1				180	36.0
600	2			1			230	38.0
700	2				1		280	40.0
800	2	1			1		330	41.3
900	2		1		1		380	42.2
1000	2		1		1		380	38.0
1100	2		1			1	430	39.1
1200	2			1		1	480	40.0
1300	2			1		1	480	37.9
1400	2				1	1	530	37.9
1500	2					2	580	38.7
1600	2	1				2	630	39.4
1700	2		1			2	680	40.0
1800	2		1			2	680	37.8

8 コンクリート硬化熱解析例

VE1-40、VE2-150を使用した例（拡大図）

- ・コンクリート壁打設条件は、コンクリートスラブ上に垂直に打設
- ・壁厚：1000mm
- ・打設高さ2500mm、1250mmで1回打継ぎ
- ・セメントは高炉B種、24N/mm²配合
- ・目地の設置ピッチ：5000mm

欠損率38%により、大幅に温度ひび割れを低減できると予測できます。



9 施工方法

【誘発目地材「アデカストッパーVE」の施工手順】

